令和2年度　神奈川県高等学校教科研究会情報部会研究大会

【研究報告】
川崎北高校におけるオンライン授業の取組と今後の展望

令和2年6月25日（木）

神奈川県立川崎北高等学校校長　柴田功

はじめに

自己紹介

平成元年～15年度　　神奈川県立高校　理科･情報科教諭
平成16年～令和元年度　情報教育指導主事･ICT推進担当課長　等
令和２年度～　　神奈川県立川崎北高等学校　校長

神奈川県の取組

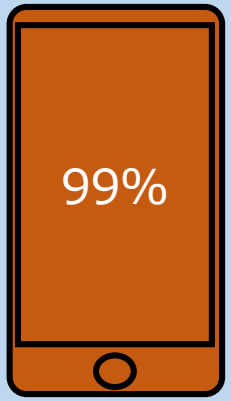
令和元年度
- 〇端末整備（各校にChromebook82台、私物スマートフォンも利用可）
- 〇ネットワーク整備（全校無線LAN、民間の光インターネット回線整備）
- 〇クラウド利用（全生徒･教員アカウント12万人分 eG Classで作成）

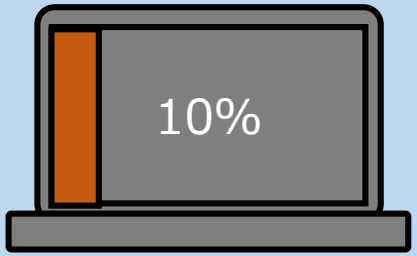
令和２年度
- 〇家庭のネットワーク環境支援（本校はモバイルルータを10数台配付）

本校の生徒の状況

端末

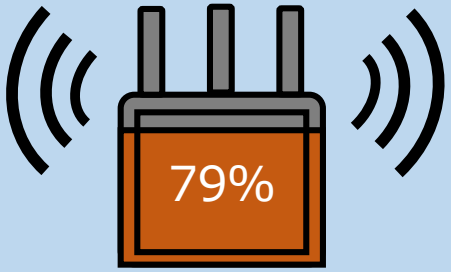
- スマートフォンを所有…… 99%
- 自分専用のPCを所有…… 10%
- 家族共有のPCがある…… 48%
- Chromebookを貸与した…… ２人





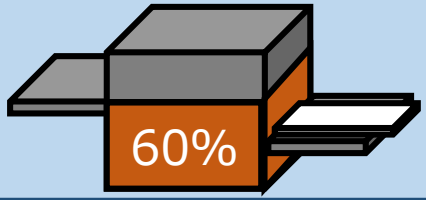
ネットワーク

- 無線LANがある…… 79%
- モバイルルータを貸与した…… 10人



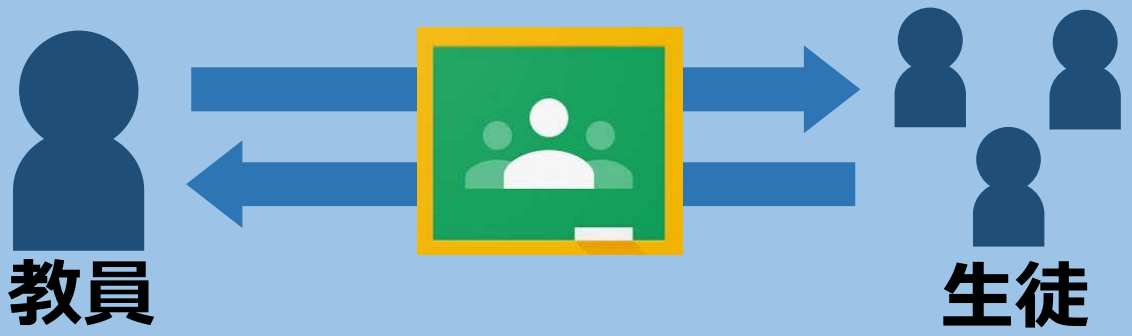
ネットワーク

- 自宅で印刷できる…… 60%



川崎北高校のオンライン授業

全教科Google Classroomで課題配付



YouTubeの限定公開により動画を配信

週ごとの科目別課題一覧をWeb公開（パフォーマンス課題も）

教科	科目名	単元（題材）	学習の目標	課題等	評価方法・評価規準
国語	国語総合	古典文法	○国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	（新規） 「文字力王」4級　第11回　漢字練習 「古典文法　動詞の活用」 1.動画を視聴する ・動詞の活用 2.動画を視聴後、課題プリントを解く	・提出物により評価します。 （提出日 授業の教員が別途指示します。クラスルームをよく見ておくようにしてください） 【評価基準】 ・学習課題に関心を持ち、積極的に課題に取り組んでいる。（関心・意欲・態度） ・歴史的かなづかいのあまりを理解している。（知識・理解）
公民	現代社会	現代の国家と民主政治	○広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察し、理解を深める。 ○人間としての在り方生き方についての自覚を養い、平和で民主的な国家や社会の形成者として必要な資質を身に付ける。	（継続） 授業プリント⑧（6月8日にクラスルームで配付） 授業プリント⑨（初回授業で配付） また、その他のプリントも復習しておきましょう。	○提出物によって評価します。 （提出日：授業で指示します） 【評価規準】 ・国内外の政治社会について、設定した課題を意欲的に追究し、社会へ参画する態度を身につけようとしている。 ・国内外の政治社会に関して、基本的な事柄を理解し、社会へ参画する態度を身につけている。
数学	数学Ⅰ	第1章　数と式 第3節　1次不等式 7．1次不等式	・数と式について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 ・事象を数学的に考察する能力を培い、それらを活用する態度を育てる。	（新規）プリント(提出用) ・第9回課題　不等式②	○提出物により評価します。 【評価規準】 ・不等式を身の回りの現象と関連付けることができる。 ・1次不等式の解法を理解している。
	数学A	第1章　場合の数と確率 第1節　場合の数 3．順列	・場合の数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 ・事象を数学的に考察する能力を培い、それらを活用する態度を育てる。	（新規）プリント(提出用) ・第9回課題　順列②	○提出物により評価します。 【評価規準】 ・数え上げの考え方に興味を持つことができる。 ・数え上げの過程を考察することができる。

Meetを使った同時双方向型を一部で実施

川崎北高校のオンライン課題

ドリル型学習課題だけでなくパフォーマンス課題も実施

・美術Ⅰ　アマビエを描いて提出

・音楽Ⅱ　課題曲を歌って録音して提出

・コミュニケーション英語Ⅰ　スピーチを録音して提出

・社会と情報　スライドと姿を出した発表動画を提出

Ⅰ年生の自宅学習課題「アマビエ」
姿を絵に描いて人に見せると疫病封じに効くという伝説がある妖怪
（ホームページへの掲載は生徒の了解を得ています。）

Ⅰ年生の自宅学習課題「アマビエ」
姿を絵に描いて人に見せると疫病封じに効くという伝説がある妖怪

Classroomで本人あてにコメントも

Meetの活用場面

授業等における活用

- 同時双方向型授業（一部の選択科目で実施）
- 質問タイム　　（課題に対する質問）
- ホームルーム活動　（自由参加）
- 二者･三者面談（リアル･オンラインは選択制）

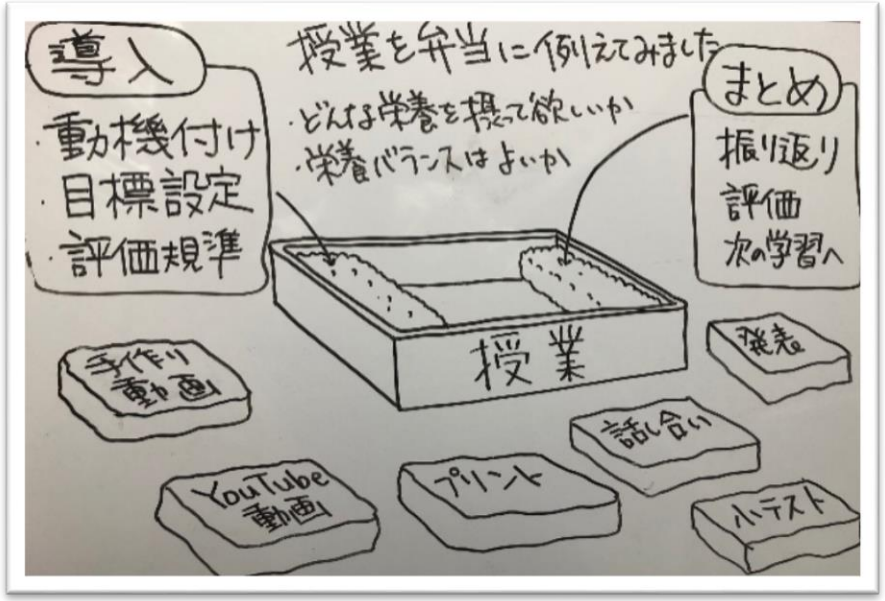
校務における活用

- 教員のミーティング（在宅勤務を行っている期間、朝と夕方に実施）

Meetを活用した授業のまとめ

有効

- 教員の声かけ、雑談、楽しい雰囲気づくり
- 生徒の反応がよいチャット機能
- 顔、声出しを強制しない



課題

- スマートフォンで授業を受けるのは厳しい
- 家庭のネットワーク環境によっては厳しい
- 長時間は厳しい
- 資料提示と説明で２画面ほしい

解決策

- 学校のChromebookを生徒に貸し出す
- モバイルルータを生徒に貸し出す
- オンデマンド型と同時双方向型を併用する
- 教科書を中心に授業を行う

Meetを活用した職員ミーティングのまとめ

有効

- 使い方が簡単で、全教員が利用できた
- 在宅勤務の教職員とも情報共有できた
- チャットで質問でき、即回答できた
- 会議の代替となった（２カ月間職員会議なし）

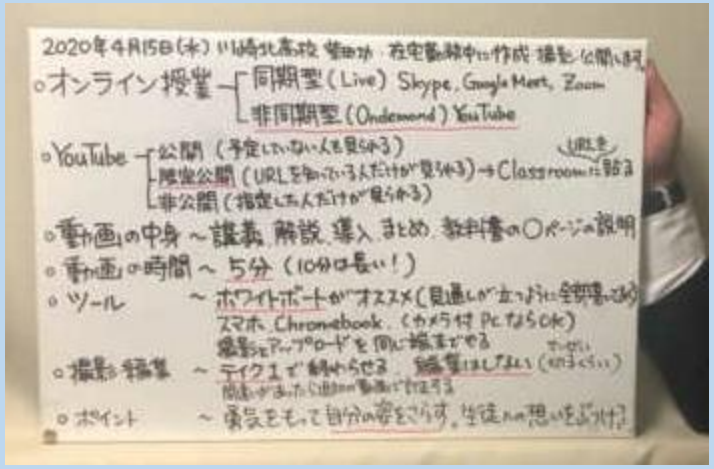
課題

- 個人情報、重要情報は扱わない（生徒と同一ドメインなので）
- バーチャル背景がないので家の中が見えてしまう
- 家庭にPC、LAN環境がない職員もいる

川崎北高校のオンライン授業のノウハウ

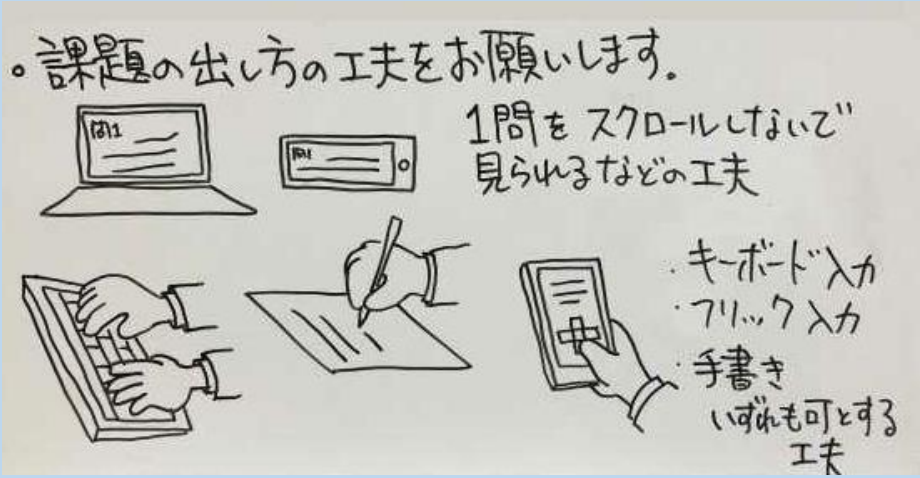
動画コンテンツ作成

- 動画の撮影はテイク１、編集しない
- 説明内容は予め黒板やホワイトボードに書いておく
- 動画の長さは５分程度、撮影した端末でアップロードする
- できれば姿をだしてアイコンタクトするのが良い



課題の出し方

- スマートフォンの横向き画面で見やすくする
- 印刷しなくても取り組める課題にする
- キーボードがなくて取り組める課題にする
- クラスごとではなく、科目全体で同じ課題を出す
- 生徒に事前にルーブリック（評価基準）を示す



生徒・保護者の声（Googleフォームで実施）

生徒

- 先生と顔をあわせることができてよかった　・規則正しい生活を送ることができた
- 先生からのコメントがモチベーションになった　・動画のおかげで課題ができた
- 動画を止めて確認し、自分のペースで学習できた
- 画質が粗くて、見えづらかった　・印刷できないとつらい

保護者

- とりあえずオンライン学習に取り組んでいただけてありがたかった
- 一部でも取組の様子が見られてよかった
- 授業動画があったのが良かった
- スマホだと画面が小さくて課題が見えづらい

まとめ

オンラインは教育活動の一部になった

〇不登校、入院、自宅療養中の生徒の対応

〇教員の教材置き場（Googleサイトがおすすめ）

〇生徒のポートフォリオ

〇情報発信・伝達手段（面談、説明会、会議等）

今後はBYODを進めつつ、

自治体や学校が支援をする必要がある